

【港南区】平成 30 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議
議事録

開催日時	平成 30 年 2 月 14 日（火） 午後 2 時 25 分～午後 3 時 55 分
場 所	港南区役所 5 階 特別会議室
出席者	<p>【座長】瀬之間康浩議員</p> <p>【議員：4 名】 田野井一雄議員、みわ智恵美議員、安西英俊議員、山田桂一郎議員</p> <p>【港南区：28 名】 齊藤貴子区長、中井邦雄福祉保健センター長、佐藤英一福祉保健センター担当部長、山浦善宏港南土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	平成 30 年度個性ある区づくり推進費について （塩田総務課長説明）
言 の 要 旨	<p>山田議員：桜道再整備推進事業について、現在、桜を植え替えているが、以前は桜道の途中に休憩できるベンチがあり、今後も途中にベンチを設けてもらいたいとの要望が地域住民からあった。確かに、桜道は急坂でもあり、お年寄りが休憩できるベンチがあつていいと思うが、どうか。</p> <p>渡辺土木事務所副所長：歩道にベンチを設置する場合がありますが、ベンチ設置後の歩道幅員が、最低 2.0m あることが法令等の条件となります。桜道の歩道は、地域のご意見を踏まえ、歩道部分の反対側に新たに 1.0m の歩行空間を再整備の際に設けたことにより、標準幅員が 2.0m となり、ベンチを設置する余裕がありません。また、道路上のベンチは、一般的にはバス停等限定された場所以外には設置していません。今後も、しっかりと地域の皆様と話し合い等をしていきながらよりよい桜道に向けて、引き続き、再整備事業を進めていきます。</p> <p>山田議員：是非、お願いしたい。</p> <p>次に、安心安全まちづくり推進事業について、下永谷や上大岡など狭い歩道に電信柱があり歩きにくいことから、住民の方から無電柱化の要望が寄せられているが、港南区の無電柱化の計画はどうなっているか。</p>

渡辺土木事務所副所長：大きな地震による災害が発生した直後でも、応急対策が迅速に実施できるよう緊急輸送路の第一次路線である環状二号線と横浜鎌倉線（鎌倉街道）、及び区役所へのアクセス路を優先して行う予定です。

山田議員：下永谷駅から環状二号線へ通る道の無電柱化は、どうか。

渡辺土木事務所副所長：現在の無電柱化の技術レベルでは、地上部に設置する機材のスペース確保と、電線を地下に収納するスペースの確保が必要ですが、狭い道路では水道や下水道、ガスなどの地下埋設物が混在しているため、対応できない状況です。

山田議員：無電柱化がすぐできないのであれば、電柱の移設を東京電力等に働きかけできないのか。

渡辺土木事務所副所長：道路上の電柱1本の移設であれば可能性がありますが、1本の移設に伴って近接の電柱も移設が必要となった場合、宅地内に移設してよいという全員の賛同が必要となります。

山田議員：国の方でも簡易で廉価な方式を検討していると聞いているので、今後、様々な検討をお願いします。

最後に、正確・丁寧な行政サービスについて、昨年10月の衆議院議員選挙の期日前投票で、栄区民に港南区の投票所で投票させてしまうミスがあったが、その原因と再発防止策は、どうなっているか。

塩田総務課長：期日前投票所のパソコンのシステム・アップデートに時間を要し、投票に来られたお客様が多く並んだ状況でしたので、投票のご案内で本人確認をして、投票をしていただきました。パソコンのアップデート後に、投票された方を再度確認したところ、栄区の方が1名含まれていたことが判明しました。ミスの原因は本人確認の際に住所の確認が不十分であったことにあります。申し訳ございませんでした。再発防止策として、ミスのあった日から、パソコンは、投票終了後に再起動することで、投票開始前にパソコンのアップデートに時間がかからないようにしました。また、投票開始時には、統計選挙係の職員を配置し、投票開始時のトラブルに対応できるよう体制を変更しました。また、今後も選挙に慣れない職員が期日前投票所を担当する場合もあるため、事前の説明会等でマニュアルの徹底を図るとともに、トラブル発生時に備えた職員の体制を組んでまいります。

安西議員：歩行者サポート事業について、28年度に要望を受けたものは、30年度に全て終了とあるが、29年度に要望を受けた状況と今後の方向性は、どうか。

渡辺土木事務所副所長：29年度の要望は4件ありました。30年度中に31年度に実施する箇所の要望を募集します。28年度は区連会を通して要望を募集しましたが、30年度の募集も区連会と相談していきます。

安西議員：28年度の要望箇所について、地域からはありがたいという声が聞こえてくる。地域の声を掌握したうえで、きちんと説明できる優先度をつけてもらいたい。要望を上げたいのに、メ切後で、翌年忘れてしまうとうこともあると困るので、一旦要望を受けてもらって、きちっと掌握できるように検討をしていただくことを要望する。

次に、災害時のペット同行避難支援事業について、避難訓練の実施状況は、どうか。

待永生活衛生課長：29年度は拠点6か所で訓練を実施しました。

安西議員：訓練の課題や区の獣医師会からの要望等は、どうか。

待永生活衛生課長：訓練が行われているのが一部の拠点という点と、実際にペットを連れた訓練がまだ広がっていないという点が課題と考えています。

安西議員：訓練のための訓練にならないように、掌握している課題と獣医師会の要望を聞きながら、連携をとって実施していただきたい。

次に、緊急時における迅速、確実な連絡体制の構築事業について、台風を想定しての訓練を3回予定とあるが、どのように行うのか。

塩田総務課長：29年度は既に7月14日と10月13日の2回実施しました。

7月は、登録数112自治会、140名のうち85名から回答いただき、回答率は60.7%でした。10月は、登録数118自治会、153名のうち106名が回答いただき、回答率69.3%と、回答率が上がりました。3回目は2月16日に実施予定です。区連会等で訓練の結果等を報告し、より活用が進むよう周知しています。

安西議員：区から自治会町内会へは、この体制で情報を伝えることができる。次は自治会町内会から区民への情報受伝達が重要なので、その啓発とともに、自治会町内会との連携をよくとってもらうこと

を要望する。

最後に、安心安全まちづくり推進事業について、地域子どもの安全対策協議会で様々実施しているのは認識しているが、この協議会に参加していない地域の方からこうして欲しいという声をよく聞く。このような声を吸い上げる手段は、協議会以外にあるか。

馬淵地域振興課長：地域子どもの安全対策協議会は小学生の安全確保の観点で、学校とPTAが中心となって開催しています。協議会以外での地域の方の声については、各連合で実施している意見交換会に地区担当の職員が出席し把握しているほか、個別に自治会長から地域振興課に相談いただくこともありますので、そうした場を通じて頂いた意見に対応していきたいと考えています。

安西議員：ある小学校の周りで、そこに通っている先生の車のスピードが速いという声がある。こういう意見は学校には言いづらいし、どこに言えば良いかということだが、地域振興課が窓口になってくれることを地域には伝えていく。

みわ議員：災害時も地域で見守り推進事業について、要援護者の受入訓練や地域防災拠点と連携した福祉避難所の開設訓練とあるが、福祉避難所の指定はどのように考えられて、進められているか。

榊原高齢・障害支援課長：区内では、高齢者施設や地域ケアプラザといった施設で25か所を指定しており、防災マップ等に掲載しています。福祉避難所への避難は、一度地域防災拠点へ避難し、必要な場合に福祉避難所への避難になりますが、その判断等は区役所と調整になります。訓練では、地域防災拠点での生活が厳しいという方がいるという想定で、地域防災拠点から区役所への連絡、区役所と福祉避難所の調整、区役所から地域防災拠点への回答という流れで行っています。

みわ議員：例えば、港南中央地域ケアプラザが福祉避難所で、南台小学校に一度避難し、それから福祉避難所へ避難するという合理的でない訓練も行われたと聞いている。直接福祉避難所に避難できるような訓練を要望する。

次に、健康アクションこうなん5推進事業の健康経営について、港南区役所の職場としての健康経営の取り組みは、どうか。

齋藤区長：例えば、土木事務所では毎朝ラジオ体操を行っていたり、窓口のある職場ではラジオ体操は難しいので、職場の中で運動をして

いこうというムードを作っています。今年は、職員提案でウォーキングポイントの歩数計を持ち、職員3人組になり歩数を競う試みを行いました。多くの職員が参加し、区役所が区民の皆様の健康を考える前に自分達の健康を考えるということで、運動したり、野菜を食べたり、がん検診に行くという呼びかけもしています。また、メンタルになる職員を減らす取り組みも各職場の中でできるようにしています。

みわ議員：庁内報で見ることができれば、区役所職員の取り組みが身近に感じられるので載せていてもらいたい。

次に、障害者いきいき生活応援事業について、ウィリングにラポール・ブランチができるということで、障害者と共にできるスポーツをPRとあるが、具体的にはどうか。

榊原高齢・障害支援課長：まだ具体的に話が進んでいる訳ではありませんが、パラリンピック競技でもあるボッチャが、障害のある方も、ない方も参加できるスポーツですので、ラポールの運営主体であるリハビリステーション事業団の協力をいただきながら、地域の皆様、スポーツ推進員の方々とも連携して、地域のイベントに採用してもらえそうな働きかけ、普及を図っていきたくと考えています。

みわ議員：ウィリングの場所が福祉の施設として再生されることを、皆さんに知ってもらうよう広報し、また具体的なイベントが見えるように取り組んでもらうよう要望する。

次に、区制50周年記念事業について、いろいろな取組があるとのことだが、港南区検定や港南マイスターのような、港南区を身近に感じてもらう取組や、武相国境のように、港南区に來られた方に啓発でき、区の歴史を研究してきた方の活躍の場になるような取組は、考えられているのか。

齊藤区長：50周年については、区民の皆さまにいろいろご意見をいただきながら作って行きたいと思います。また、街の魅力発信としては「まち自慢ガイドブック」が評判も良く、これを見ると区の歴史がわかる、街歩きがしたくなるというお話もいただいております。そういうもののリニューアルも含めて、いろいろな方の話も伺っていきたくと思っています。

みわ議員：都市計画マスタープラン・港南区プランについて、現在どのようになっているのか。

林区政推進課長：昨年6月に現行プランへの意見募集を行い、3件ご意見をいただきました。次は、今年の7月頃に素案をお示しし、意見募集をする予定ですので改めてご説明いたします。

みわ議員：期日前投票ですが、昨年の総選挙で台風が来るということで大変期日前投票が込み合い1時間待ったとか、寒かったとか聞いた。投票率を引き上げる点からも場所の拡大、例えば上大岡のオフィスタワーなどにもう一か所あればお勤め帰りに寄ることができる。港南中央は市営地下鉄の急行が止まらない駅なので、京急も市営地下鉄も止まる上大岡にもう一つ期日前投票所を設ける計画はないのか。

齊藤区長：現行では、区役所では必ず期日前投票所を設け、それ以外に1か所となっているため、区役所のほか港南台に期日前投票所を設置しています。上大岡にというご意見が多いことは市の選挙管理委員会に伝えさせていただきます。区の判断でもう一つ増やすことは現行ではできないので、私共も市の選挙管理委員会に要望しています。

みわ議員：港南区にかかわる主な局事業の中で、道路局の日野川の護岸改修があるが、港南区では区提案反映制度で日野川の道の整備事業を出していると聞いているが、この護岸改修と関連があるか。

林区政推進課長：日野川の護岸工事が今後も予定どおり進捗するよう、区として河川改修に必要となる整備について計上を要望したものです。

みわ議員：日野川の道整備事業と連携しているのか。

山浦土木事務所長：数年前に地域の方々と土木事務所・区政推進課が日野川の道の検討委員会を作っていただきました。日野小学校から、下流部分をどのような川にして行くか、両側にプロムナードを渡したような形状や樹木を植える計画を策定しました。これにつきましては区役所のホームページにも紹介しています。この計画に基づいて道路局河川部に予算を付け順次工事をしているものですが、当初の予定よりスケジュールが若干予算の関係で遅れているので、しっかり予算をつけて工事を進めて行きたいと思っています。

瀬之間議員：通学路カラー舗装化事業について、歩道がない通学路での歩行スペース確保とは何か。

渡辺土木事務所副所長：車道と歩道が分離されていない歩車共存の道路に、子ども達が歩けるよう白線を引き、その内側に 30 cmほどの緑のラインのグリーンベルトを引くことにより、歩行空間にするという事業です。

瀬之間議員：日野の大北町内会の吉原小学校児童の通学路が、歩道がなく、歩いているところがどぶの側溝で、以前グリーンベルトの要望を出したところ、歩道でないので引けないと言われたということだが、この事業の対象となるのか。

渡辺土木事務所副所長：蓋をしたU字溝は、白線を引いて 30 cmのグリーンベルトを引いて残る道路幅が 4 mあれば、可能かと思います。

山浦土木事務所長：現場を確認させていただきますが、U字溝の形状にもよります。理想はU字溝をL型やLU型に暗渠化し歩行空間として確保できるような道を整備していきたいので、予算の関係もありますが順次着手し、歩行空間の確保に努めてまいります。

瀬之間議員：現場を確認していただきたい。

田野井議員：国は 100 年会議というのを始め、人生 100 年を考えている。全国では 100 歳以上が 67,824 人、90 歳以上は 202 万人、男性の平均寿命は 81 歳、女性は 88 歳。しかし、健康寿命は 75 歳という状況について、区はどのように捉えているか。また、70 歳以上の経営者は全国で 245 万人おり、127 万人は後継者がいない。港南区には工業会があるが、社長の平均年齢など、港南区は来年 50 周年を迎えるので、100 年人生を見据えた取りまとめをすることについては、どうか。

齊藤区長：横浜市の健康経営認証制度は、今年度で 2 回目になりますが、港南区では 8 社が応募、5 社が認定されました。18 区の中で応募社数・認定社数が多い区になり、企業の皆様と一緒に健康である港南区を目指し、体だけでなく心も豊かに、いろいろなステージで心と体の元気な区民・企業を作っていきたいと思います。また、50 周年でつながりづくりを考えていますので、いろいろな方々がつながって、活動も広がり、健康にもつながる契機になればいいと思っています。

田野井議員：健康アクションこうなん5推進事業の「がん対策と健康診断」について、6年生の教材としてリーフレット作成とのことだが、がんの検診率42%は傾向として上がっているのか。

川井福祉保健課長：数字を把握しておりませんので、改めて確認し回答します。

田野井議員：自分の健康は自分で守る。がんは早期発見が大事。健康問題は一番大事なことなので、広報を出しても検診率が上がらないことについてどうしたら良いかと思うが、三師会とも連動しながら力を合わせていただきたい。

次に、区役所1階の区民ホールについて、港南公会堂の再整備までに時間がかかる中、利用団体が場所探しに苦労しているので、区民ホールを有効活用することは、どうか。

齊藤区長：今週も、区民ホールにおいて障害者の団体の方の作品展を行っています。作品の展示や活動のPRを中心に使っていますが、大きな音がするものについては、区庁舎2階がお客様の多い窓口となっているので難しいと考えています。

田野井議員：音無しなら何とかなるということですね。こうなん文化交流協会は華道や茶道部会もありますので、是非考えていただきたい。

次に、ペット同行避難訓練については、実施が意外と少ない。9月に山下公園でペット同行避難訓練を、獣医師会を含む8つの団体が行っていたので参考にして欲しい。

また、83（ハチサン）運動について、3時の実施状況はどのように把握しているか。

馬淵地域振興課長：83（ハチサン）運動をPRしていますが、8時の登校時間は一斉に決まっていますので、各地域で学援隊などご協力をいただきながら取り組んでいます。しかし、3時については、学年やイベントにより下校時間がまちまちのため、区としても課題だと考えています。今後、学校と連携を強化して、地域に下校時間の情報を流せるように、不審者の状況もありますので情報の流し方を調整しながら、ご協力いただける環境を整えてまいります。

田野井議員：朝は保護者がいるが、各学校の下校時間は違うので3時が大事である。また、8時より3時の方が子供たちに解放感があり飛び出してしまふことがあるので、学校との連携を密にしていた

	きたい。
備 考	